新たなごみ広域処理施設に関する説明会

おもて

■これまでの経緯

上尾市と伊奈町では、現ごみ処理施設の老朽化により新施設の検討が急務となっています。

平成30年度には、処理の効率化などを目的に、上尾市と伊奈町のごみ処理施設をひとつにまとめて整備する方針を決定しました。

新たなごみ広域処理施設の整備を担当する上尾伊奈資源循環組合は、令和５年度の設立以来、施設の基本的な方向性を定める施設整備基本構想を策定し、現在はより具体的な内容を定めるための施設整備基本計画の策定を進めています。

■処理対象物

新たなごみ広域処理施設
可燃ごみ
不燃ごみ
紙類・布類
ペットボトル
ビン
飲料缶・スプレー缶
プラスチック類
牛乳パック
小型家電
蛍光管・水銀計・電球
廃乾電池
ライター
粗大ごみ

【プラスチック類】

温室効果ガスの削減のため、

・プラスチック製容器包装

（ マークのあるプラスチック）

・それ以外のプラスチック

（ マークのないプラスチック）

をどちらも資源化します。

※分別・収集方法は、今後、上尾市と伊奈町が決定します。

■建設予定地

■稼働開始までのスケジュール（案）

	R7 (2025)	R8 (2026) 来年	R9 (2027) 再来年	R10 (2028) 3年後	R11 (2029) 4年後	R12 (2030) 5年後	R13 (2031) 6年後	R14 (2032) 7年後	R15 (2033) 8年後
【上尾市】西貝塚環境センター	延命化工事	延命化完了	稼働30年	稼働31年	稼働32年	稼働33年	稼働34年	稼働35年	稼働停止
【伊奈町】クリーンセンター	延命化完了	稼働37年	稼働38年	稼働39年	稼働40年	稼働41年	稼働42年	稼働43年	稼働停止
新たなごみ広域処理施設	基本計画策定	都市計画決定 / 事業者選定	用地取得	設計・建設工事					**稼働開始**

新たなごみ広域処理施設に関する説明会

うら

■施設諸元（案）

施設名称	(仮称)上尾伊奈ごみ広域処理施設　※正式名称は今後検討		
敷地面積	約7ha		
主要施設	管理棟 工場棟：可燃ごみ処理施設／不燃・粗大ごみ処理施設／資源物処理施設／ストックヤード(一時保管場所)	受付日・時間	原則、平日(月～金) 8：30～16：30
施設規模	可燃ごみ処理施設：180トン/日(24h)　※現市町合計：360トン/日 不燃・粗大ごみ処理施設：27.9トン/日(5h)　※現市町合計：95トン/日 資源物処理施設：44.6トン/日(5h)　※現市町合計：14.9トン/日		
可燃ごみ処理方式	今後、以下の２方式から選定予定 ①ストーカ式焼却方式 …可動する火格子（ストーカ）の上にごみを供給し、火格子の下から空気を吹き込みながら燃焼する方式です。 ②メタンコンバインド方式(メタンガス化+ストーカ式焼却) …有機物（生ごみ等）を機械選別し、メタン発酵処理してメタンガスを生成します。発酵残さや有機物以外の可燃ごみは焼却処理します。		
事業費	現在、メーカーにヒアリング中です。 結果をもとに令和7年度中に概算額を算出します。		

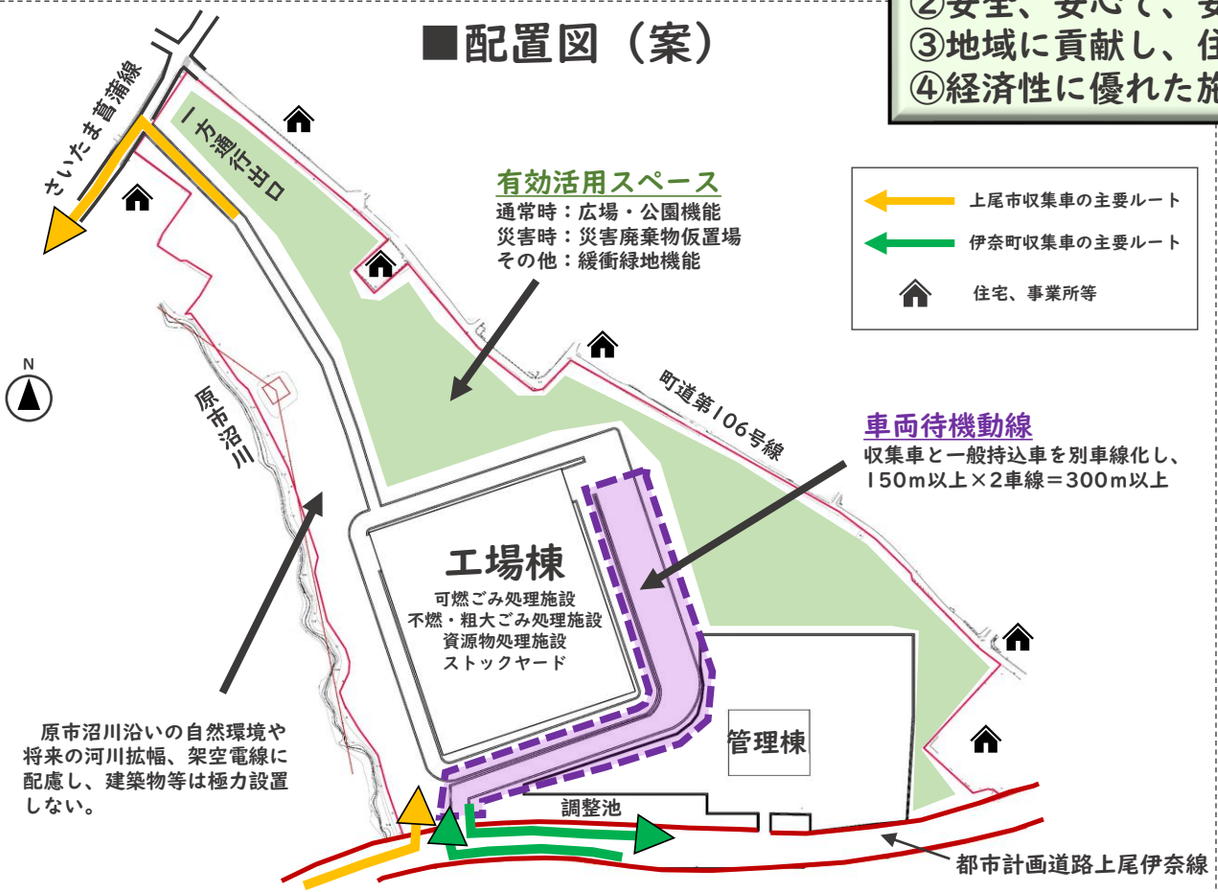
４つの基本方針（コンセプト）
①環境にやさしい施設
②安全、安心で、安定した施設
③地域に貢献し、住民に親しまれる施設
④経済性に優れた施設

■公害防止基準（案）

		自主基準値	法令等規制値
排ガス（煙突高59m）	ばいじん	0.01g/m3N以下	0.08g/m3N以下
	硫黄酸化物	20ppm以下	K値9.0 (＝約1,400ppm以下)
	窒素酸化物	50ppm以下	180ppm以下
	塩化水素	20ppm以下	123ppm以下
	ダイオキシン類	0.1ng-TEQ/m3N以下	1ng-TEQ/m3N以下
	水銀	30 μg/m3N以下	30 μg/m3N以下
騒音		騒音規制法の規制値以下	騒音規制法の規制値以下
振動		振動規制法の規制値以下	振動規制法の規制値以下
悪臭		悪臭防止法の規制値以下	悪臭防止法の規制値以下
排水		公共下水道接続：国、町の下水道排除基準を遵守 または、 施設内循環消費(排水クローズド)：排水なし	

※運転状況はモニター表示などにより積極的に情報公開します。
※施設内の負圧管理や吸気口の適切配置により、飛散物質の漏洩を防止します。

■配置図（案）



■主要な機能（案）

	主な内容、方向性
土木・建築	・地盤状況や水害歴などを考慮し、適切な地盤高を確保 ・安全性や防犯性などを考慮し、適切に敷地境界を施工 ・景観や自然環境に配慮して植栽等を施工 ・周辺住民、住宅等に配慮して施設配置を検討 ・事故を防ぐ安全かつ分かりやすい動線 ・自然エネルギーを積極的に採用
プラント(工場)設備	・低公害、省エネ、高耐久設備の採用 ・AI、IoT技術を積極的に採用 ・焼却熱等を活用した発電
防災機能	・災害時にいち早く復旧可能な耐震性等の確保 ・周辺住民の一時的な避難場所を提供
環境学習機能	・子供だけでなく大人も学べる学習機能 ・見学者受入のための会議室
市民・町民が利用できる施設	・広場・公園機能 ・まだ使える粗大ごみ等の提供 ・EV車充電設備

【問い合わせ先】
上尾伊奈資源循環組合
住所：上尾市平塚951-2
電話：048-658-9471
FAX：048-658-9472
HP：https://www.aisj.or.jp
(HP)